

自由律俳句

おおくさ編集室選

あと五分あと少し抜け出せない布とんの中
 どの色いろも受け入れている秋の山
 新聞を待つ朝の幸即位の礼
 新米供えて今年も無事終わったと
 青いキャンバスにおもいつきり
 絵を描いた秋の雲
 石の温もりに来た赤蜻蛉の深まる秋
 孫のお代りがなよりの新米の評価
 大根蒔きたくて肥料して雨を待つ
 訪ね来し人と菜園見回るひと時秋日和
 凜と咲いた紅白彼岸花命燃えつきて

茶屋 木山 輝子
 茶屋 岸本 治枝
 生山 渡辺 圭子
 生山 弓場 里恵
 茶屋 長谷川由美子
 茶屋 小林 道子
 茶屋 藤原 寿郎
 印賀 久代 幹子
 茶屋 木山 操子
 神戸上 柴田 篤子

敬老会デイサービスのあればこそ
 日々移る山の装い秋気澄む
 朝寝して衣被の葉露の玉
 閉じ込めた悲しみ聞く彼岸花
 足音をひそめて聞くや初ちちろ
 秋深し重たき辞書に引く一字

神戸上 笹間 玲子
 宮内 田辺登志美
 宮内 船越 裕子
 矢戸 和田 淑子
 豊栄 花倉美佐子
 宮内 木村萬佐子

俳句

駄句駄句会編集室

短歌

大正に生れし吾が身が天皇の
 即位三度を迎える幸を
 吾が五才昭和天皇御即位は
 村をあげての彼の賑わいを
 山燃ゆる 歴史街道 川筋の
 秘境訪ねて 町内巡り
 赤蜻蛉 短い命懸命に
 宇宙を翔んで 子孫孫孫 繋ぐ
 新しい令和の御代 繁栄し
 緑 ゆたかな 大和 麗し

宝谷 横谷 秀子
 宝谷 横谷 秀子
 下石見 浅川 三郎
 阿毘縁 木村 民子
 阿毘縁 木村 民子
 阿毘縁 木村 民子

編集後記

10月から11月にかけて、日南町では「にちなん日和2019」、「にちなんふる里まつり」など大きなイベントが目白押しで、いつもよりまちの話題を多く取り上げました。あのイベントが載っていないなどあるかも知れませんが、12月号に掲載仕切れなかったものは、また1月号で紹介できればと思います。

お知らせページにも掲載しましたが、にちなん食のバザールが11月30日(土)に米子市公会堂前広場で開催されます。これまで37回行ってきた食のバザールが、初めて米子市で開催されることとなったのです。当日は、16のブースが出店し、日南町のおいしいものを日南町外に発信します。米子市やその近隣にお住まいの多くの日南町出身の方、なかなか日南町までは足を運べないけど日南町のおいしいものが食べたい方など多くの方にご来場頂き、イベントを盛り上げていただければと思います。このときの様子は、また「広報にちなん」でもご紹介する予定です。

今月も一句
 にちなんの おいしい食べ物 いざ出陣

問 役場企画課 82-11115

「手話教室のお知らせ」

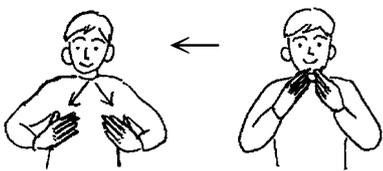
手の動きや顔の表情で意志を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えていきます。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

12月の日程

12月1日(日) 14時〜15時30分
 12月15日(日) 14時〜15時30分
 場所 日南町文化センター 第3研修室

【お問い合わせ先】

石田由香里(080030529933)
 浅野 博美(090097341887)



「会」

両手を左右の斜めに引く。
 両手の手のひらを下に向けて斜めにする。
 ※「会」の漢字の上部を表す。



「発表」

両手の親指と人差し指を立てて、人差し指を上に向けるようにして顔の前に持ってくる。少し広げるように、両手を同時に前に出す。



「歌う」

両手の人差し指と中指を立てて、口の両端から斜め上にくるりと上げる。



「劇」

頭の両側で両手のこぶしが互い違いになるように手首をひねる。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

